

やしま

広報 矢島 10月

平成 14 年第 5 5 8 号

編成・発行/矢島町企画商工観光課 毎月1日発行
秋田県由利郡矢島町矢島町 20 TEL 0184-55-4952
印刷/高瀬館印刷所 FAX 0184-55-2157
Eメール yashima@town.yashima.akita.jp
ホームページ <http://www.town.yashima.akita.jp>



9月7日・8日に五穀豊穡を願う八朔まつりが行われ、宵宮では神楽太鼓・祭典では各町内の趣向をこらした山車が町内を練り歩きました。沿道には町内外より多くの観衆がかげつけ、まつりを盛り上げておりました。
(写真～神明社に向かう城新の神楽太鼓)

400年の伝統 八朔まつり

今月の主な内容

P 2・3	市町村合併アンケート結果報告	P 4・5	13年度決算
P 6～9	中学生モンゴル派遣研修	P 10・11	まちの話題
P 14	ほけんだより	P 16・17	情報ひろば

市町村合併に関する 意識調査結果報告

アンケート結果は
約58%が合併を進めるべき

8月下旬より市町村合併に関する意識調査を矢島町一八四三世帯の世帯主ならびに18歳以上の方々千人を無作為抽出させていたが実施しました。意識調査の結果では回収率が七八・九〇%となり、市町村合併に対する意識の高さが伺えました。市町村合併に対しては約58%の方が合併を進めるべきという結果となり、合併効果では「行政経費の節約」が21%をしめしました。また、市町村合併を進める必要のない理由として「中心部が繁栄し周辺部がさびれる」が21%をしめる結果になりました。

この意識調査結果及び合併に関する意見を抜粋して町民の方々にお知らせします。

配布数

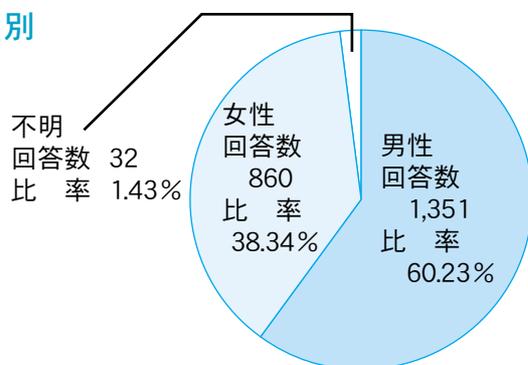
	配布数
世帯	1,843
抽出	1,000
合計	2,843

回収数

	回収数	回収率	有効回答	回答率
世帯	1,450	78.68%	1,410	76.51%
抽出	865	86.50%	833	83.30%
合計	2,315	81.43%	2,243	78.90%

性別、年齢、職業（兼業の場合、主となるもの）をお答え下さい。

性別



年齢構成

年齢	配布数	回収数	回収率
10代	44	24	54.55%
20代	183	146	79.78%
30代	241	203	84.23%
40代	408	404	99.02%
50代	494	445	90.08%
60代以上	1,473	988	67.07%
不明		33	

職業

職業	回答数	構成率
農業	338	15.54%
会社員	534	24.55%
公務員	83	3.82%
団体職員	68	3.13%

職業	回答数	構成率
商工業者	95	4.37%
自由業	119	5.47%
パート	88	4.05%
主婦	172	7.91%

職業	回答数	構成率
無職	564	25.93%
その他	114	5.24%
不明	68	

矢島町の市町村合併についてどのようにお考えですか

	回答数	構成率
① 積極的に進めるべきである	369	16.45%
② どちらかといえば進めていくことが望ましい	920	41.02%
③ 進める必要がない	509	22.69%
④ どちらでもよい	445	19.84%

市町村合併する場合、どのような効果を期待しますか

	回答数	構成率
① 高齢者等への福祉サービスが安定的に提供できること	577	17.30%
② 保健、土木など専門的な職員の確保ができ、行政サービスが向上	373	11.18%
③ 窓口サービスや文化施設等の公共施設の広範な利用が可能	338	10.13%
④ 道路や市街地の整備等が効率よくでき、一体的なまちづくりができる	593	17.78%
⑤ 重点的な投資が可能になり、大型事業を実施できる	319	9.57%
⑥ 行政経費が節約され、少ない負担でより高い水準の行政サービスが可能	705	21.14%
⑦ 市になることで地域のイメージアップにつながり、定住や職場の確保に期待	430	12.89%

もし合併するとした場合、合併市町の構成についてどう思いますか

	回答数	構成率
① 1市7町の合併	979	81.72%
② その他	219	18.28%

市町村合併を進める必要がないと思う理由はどのようなことからですか

	回答数	構成率
① 議員数が減少し、地域の要望や意見が行政に反映しにくくなる	183	10.36%
② 顔見知りの職員が少なくなり、行政との関係が様々な面で希薄になる	163	9.23%
③ 合併しても行政経費の節約にはつながらないこと	261	14.78%
④ 中心部だけが繁栄して、周辺部がさびれること	376	21.29%
⑤ 現在の町名がなくなることが心配なこと	162	9.17%
⑥ 各地域の伝統、文化など個性や特徴が失われること	232	13.14%
⑦ 役場までの距離が遠くなること	196	11.10%
⑧ 行政改革を行い住民の負担が重くなっても単独町で特色を出すべき	193	10.93%

合併に積極的な意見

◎市町村合併は、将来的に見ても必要性があると思うので、より良い効果があげられるように町行政の努力を望みます。また、私達町民も合併した場合、積極的に活動し、中心部に負けない様に活力ある矢島をアピールしなければなりませんと思います。

◎いずれ単独町で行政維持が出来ないとするならば、この際積極的に合併推進し、矢島町の立場を充分組み入れるべきと思う。

◎年々人口が減り続けている各市町村、一町村では出来る事が限られると思う。合併して大型プロジェクトが出来、鳥海山麓の開発に取り組み大きなテーマパークを造り、全国から観光客を呼ぶ事が出来るよう望みたい。そして若者が

が定着して人口が増える事を願う。

合併に消極的な意見

◎町民への行政サービスが最も大事な問題であると思われる。合併しようとしている町が、財政問題等を含めあまりにも違い過ぎ、矢島町にとって不利益な面が多すぎる。

◎合併により中心部だけが繁栄し、周辺部がさびれ淘汰される様に思われる為、合併は慎重に考えるべきである。

◎合併問題を考えるにあたって、これからの若い世代がもっと地元を大切にし、住みやすい、若者が定着できる町づくりを考えてほしい。

◎自分達の矢島が発展するのであれば、是非合併してほしいですが、逆の場合も考えられると思うのがちよつと心配ですが……

設立準備会へ参加表明

9月定例会開会中に合併調査特別委員会が開催され、その席上で佐藤町長が「住民に身近な行政サービスの提供と住民の意向を的確に反映させることが大事である。先に実施した町民アンケート結果を見ても合併を進めていくべきとの意見が約6割に達しており、現段階において本荘由利一市七町の合併協議会設立準備会に参加すべきと判断しました。」と表明した。

一般会計決算総額

歳入 46億7,862万5千円

歳出 45億2,009万9千円



平成13年度決算報告

個性豊かな町づくりへ前進

9月定例議会において平成13年度一般会計及び8特別会計・水道事業会計の収支決算が認定されましたので町民の皆様にお知らせいたします。

歳入のあらまし

数年来増加を続けておりました地方交付税が、前年対比一億二百万円の減額となっており、財源不足については特例として創設された臨時財政対策債により補填しております。町税については固定資産税が前年をわずかに上回ったものの、長引く景気の悪化や雇用調整等の影響が現実となり町民税が減額しております。また、自主財源の根幹をなす町税の滞納が年々増加しております。

歳出のあらまし

13年度の主な支出としましては定住促進対策として榎木田地区に17区画の分譲宅地を

造成、エコミュージアム構想の核と位置付けている田園空間整備は参加6町と協調し基本計画を策定しました。福祉保険対策については、少子化対策として、就学前児童の医療費の無料化、妊婦検診事業の推進、保育料の軽減などの高齢者福祉対策としては介護サービスの利用促進、インフラエンゼル予防接種を追加。道路改良整備として坂之下橋の供用開始に伴い、新荘坂之下線に着手、新所家中線が完成となりました。また、農業関係については、県営圃場整備事業の新荘・針ヶ岡地区の面工事の完成に至っております。

年々厳しさを増す財政運営にあっても町民福祉の向上と町政発展に努め、個性豊かな町づくりを目指しての行政運営が出来た年度となりました。

13年度主な事業の内訳

- ・分譲宅地造成事業
(榎木田地区17区画)
- ・田園空間整備事業(参加6町と基本計画の策定)
- ・高齢者インフルエンザ予防接種を追加
- ・矢島町消防団を6分団12部制に再編し4月より開始
- ・4月より坂之下橋の供用開始
- ・新荘坂之下線に着手・新所家中線の完成
- ・スキー場第2駐車場内に除雪機械格納庫を建設
- ・県営圃場整備事業の新荘・針ヶ岡地区の面工事の完成
- ・矢島町緊急雇用対策本部の設置(相談窓口の設置、小額資金の特別枠の増設)
- ・小学5・6年生が交流の翼事業により高松市を訪問
- ・米国同時多発テロにより中学生海外研修事業の中止

定例議会

9月10日から20日まで9月定例会が開催され平成13年度各会計の決算、条例改正、一般会計補正予算など22件の議案が審議、議決されました。

★選挙管理委員会委員の選挙

・選挙管理委員

木村 要輔 氏(中屋敷)

高橋 寛亮 氏(栄町)

真坂 達郎 氏(新所)

須貝 洋子 氏(田中町)

・委員の補充員

小番 正 氏(矢島町)

秋山 哲朗 氏(砂子沢)

三浦 忠行 氏(八ツ杉)

佐藤 宇一郎 氏(針ヶ岡)

※任期は平成14年9月28日から4年間

★矢島町教育委員会委員

佐藤 成孝 氏(上野)

の再任に同意

★条例改正

○矢島町清掃施設設置条例の一部改正

・矢島町清掃センター埋立地を廃止

★物品購入契約の締結

・ミルジー備品購入事業

・牛乳分析器を八百八万五千円

円で秋田市オリオン販売(株)と契約を締結



特別会計決算額 (千円)

会計区分	歳入	歳出	増減
畜産センター 経営事業特別会計	49,157	48,042	1,115
老人保健特別会計	778,373	771,723	6,650
国民健康保険 特別会計	561,991	486,787	75,204
町営スキー場 経営事業特別会計	107,083	101,493	5,590
簡易水道事業 特別会計	10,754	10,275	479
集落排水事業 特別会計	97,189	95,924	1,265
公共下水道事業 特別会計	344,775	340,774	4,001
土地取得事業 特別会計	1,343	946	397

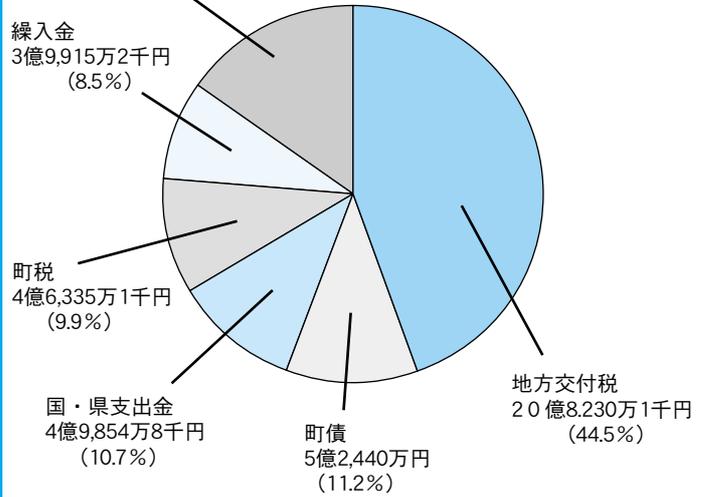
水道事業会計

収益的収入	167,493 千円
収益的支出	168,016 千円
資本的収入	2,809 千円
資本的支出	80,121 千円

市町村合併について
 定例会中に開催された合併調査特別委員会では、これまでの特別委員会での調査、研究結果と先般実施された「市町村合併に関する町民への意識調査」において、約58%が合併を進めていくべきとの結果などを踏まえ、一市七町の合併協議会設立準備会に積極的に参加すべきとの意見統一されました。

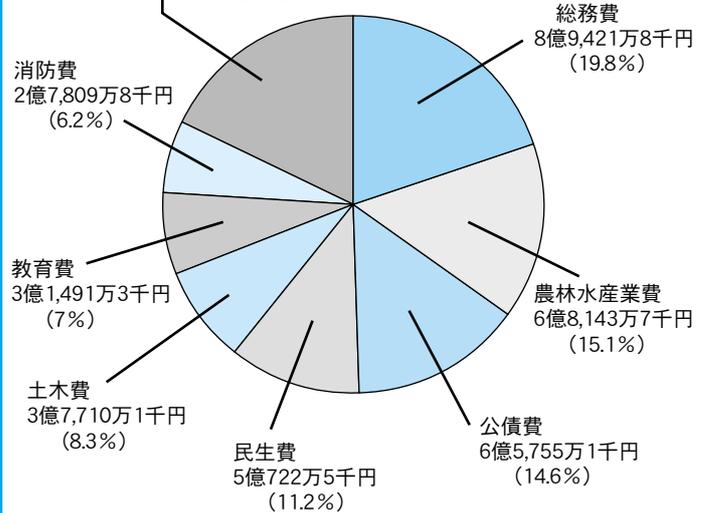
歳入

繰越金・諸収入 3億4,581万4千円 (7.4%)
 使用料・手数料・財産収入 1億308万円 (2.2%)
 地方消費税交付金 6,265万1千円 (1.3%)
 分担金及び負担金 7,869万5千円 (1.7%)
 地方譲与税など 1億2,063万3千円 (2.6%)



歳出

衛生費 2億5,337万6千円 (5.6%)
 諸支出金 2億4,948万8千円 (5.5%)
 商工費 1億9,646万7千円 (4.3%)
 議会費 8,798万7千円 (1.9%)
 労働費 2,177万8千円 (0.5%)
 災害復旧費 46万円 (0.0%)



- ★補正予算
一般会計
歳入歳出予算の総額に一億九百六十三万円を追加し、総額四十四億六千九十四万九千円とする。
- ・矢島町畜産センター経営事業特別会計
歳入歳出予算の総額に二百四十六万円を追加し、総額五千四百六十六万円とする。
- ・簡易水道事業特別会計
歳入歳出予算の総額に三十三万二千円を追加し、一千零八千円とする。
- ★決算認定
平成13年度一般会計、8特別会計、水道事業会計を認定

大自然の中で遊牧民と交流 移動式住居「ゲル」の生活も体験



8月16日から24日まで8泊9日の日程でモンゴルに研修団を派遣しました。研修に参加したのは佐藤町長を団長に矢島中学校3年生10人(男子4人、女子6人)と引率の今村先生の12人。

昨年の講演会を機に友好関係を深めているモンゴル国への派遣とあり、研修団は現地で遊牧民の移動式住居「ゲル」での生活、乗馬体験、遊牧民家庭を訪問し交流を深めました。また、海外青年協力隊の活動現場を遊登山教室でお世話になっている今井通子氏とともに視察し、貴重な体験をしました。

9月6日(金)中学校図書館においてモンゴル派遣研修の報告会があり佐藤町長が「遊牧民との交流や貴重な体験を通じ自分に得た物が大きいと思います。この体験を大事に今後に役立ててください。」と話されました。

中学生からは一人一人研修での体験談や感想を発表しておりますのでご報告します。

「モンゴルでの思い出」

3年A組 加藤真澄

研修の思い出の中でも特に心に残った出来事は、ウランバートル見学の時にたくさんの人に話し掛けられたことです。普通に話し掛けられるなら問題ありませんが、強引に物を売りつけようとする人がいたり、小さな子供がお金をもらえないかと手を差し出してくるなど、たくさんの人々がお金に困っているように見えました。私はモンゴルに行くまでそのような人達を見たことがなく、実際に見て考えさせられました。この結論はまだ出ていませんが、このような考えを持っただけでも私にとって貴重な研修になりました。



中学生が

海外派遣研修での

体験を報告

「モンゴル」

3年B組

金子剛之



8日間モンゴルで過ごし僕の心に残った事は、ゲルに泊まった事と乗馬トレーニングです。初めてのゲルではびっくりしました。テレビもなければ電気は白熱電球一つ。でもなぜかとても落ち着ける空間でした。

乗馬ではすっかり魅了させられ、馬で大草原を走るのはとても気持ちがいいものでした。舗装されていない地、でこぼこの地を走るのはとても楽しかったです。日本では絶対出来ないと思うとても良い体験をしました。

「私にできること」

3年A組

岸田育美



モンゴルでテニスを教えているNGO（青年海外協力隊）の話聞きに行き驚いた。道具も満足になく、ボールも新聞紙を丸めて使っていました。「もし、古くなった道具や、使わなくなった道具があったら送ってほしい。」と話していました。

モンゴルと日本の経済の差はテレビでも紹介されています。今回その差を目の当たりにし強く感じました。今私にできる事は、少しでも多くの人に呼びかけ協力していきたい。



「モンゴルで得たもの」

3年C組 泉谷紘香

日本では使い物にならないような物でもまだ使っている。物が買えない現状がモンゴルにはありました。

モンゴルに行って物に対する考え方が変わった私は、「これはまだ使える」「もったいない」という気持ちが持てるようになりました。また、日本は恵まれている国ということが改めて実感できました。モンゴルに行って少しでも前の自分と変わり、成長できたのではないかと思います。モンゴルに行くことができ本当に良かったです。





モンゴルの
民族衣装を着て



ゴビ砂漠の風景

「初めての体験」

3年A組

須田 恵子



モンゴルでの生活の中で乗馬体験、ゲルの宿泊、遊牧民との交流が心に残っています。

ゲルでの生活も想像していた物とは違って、驚きや感動がいくつもありました。また、自然がとても豊かで気持ちよく生活を楽しむことができ、毎日の一秒一秒が驚きと感動の連続でした。

このモンゴル研修の一週間でいろいろなことを学び、モンゴルの文化を知る事ができ、また、日本の文化と比較することもできた貴重な体験となりました。

「モンゴルでの 思い出」

3年B組

土田 源太



モンゴルでの一番の思い出深かった事は、モンゴルの子供達との交流でした。

子供達といっても見かけは僕達と変わらないが実は高校生でした。ツーリストキャンプでモンゴルの子供達から「一緒にやろうよ」と声をかけられバスケットで交流を深めることができました。キャンプを出発するとき「また遊ぼう」と言ってくれ、「わかった、さようなら」と覚えたてのモンゴル語で僕は答えました。いつかまたモンゴルに行って僕は彼らとバスケットをしたい。

「モンゴルで学んだこと」

3年B組

岸田 知美

私には嫌いな食べ物が多くあるため、日本とモンゴルの食の違いが海外研修へ出発する前から心配していました。

ウランバートルには小さな子供が物乞いをしたり、観光客相手に絵を売ったりしているところを見ると、私は今まで食べ物を惜しみもなく残してしまうほど贅沢な食生活をしていたという事に今更ながら気づかされ、自分が恥ずかしくなりました。

今回の研修では様々な経験をさせてもらい、モンゴルで学んだことを決して無駄にしない。





ラクダに乗って

ゲルの前で



乗馬の体験

「ゴビ砂漠で」

3年B組 小杉隼輝

ゴビ砂漠のゴビの意味は「小さな草が生えている」という意味で初めてみたときは全くその通りだと思いました。そして、砂というよりは砂利だったことがさらに驚かされました。

ゴビ砂漠で一番感動したのが地平線です。最初は普通に喜んでいましたが、夕焼け、日が沈んだ時や日が昇るときなど様々な地平線を見ることができ、日本で体験することのできない体験をすることができました。



「初めての体験」

3年C組

土田絵利



私の印象に深く残っていることはテレルジのツーリストキャンプで乗馬をした事です。

はじめは何をやっても馬が動かなくて現地の人々が引っ張ってくれました。現地の人達はいとも簡単に馬を動かすことができとても感心しました。助けていただきながらも自分一人で動かすことができたのでとても楽しかったです。

今回の初めての海外旅行でこんなすごい体験ができるとは思ってはなく、モンゴルの海外研修に参加できて良かったです。

「モンゴルで

学んだこと」

3年B組

土田桂



ウランバートル市内を見学した時、車のスピードに驚きました。

そして「車が優先で、

人は後から」という決まりのようなものがあつたことにも驚きました。

僕は、モンゴルに行って食事住まい、文化、習慣の違いを学びました。この研修は自分にとって国際的な視野を養うことができたし、日本を見つめ直すことができた貴重な研修となり、この体験を今後に生かしていきたい。

NGOを訪問





満百歳を迎えた相庭さん

相庭アサエさん 満百歳

おめでとうございます (9月26日)

相庭アサエさん(新所)(明治35年9月26日生)がめでたく満百歳の誕生日を迎えられました。お祝いにつけられた方々からお祝の言葉が送られると「ありがとうございます。皆さんののおかげで百歳を迎えることができました。」と答え、お返しにと「俵積み歌」を披露していただきました。暖かい拍手が送られるとはずかしがりながら満面の笑みで答えておりました。

相庭さんは雄勝郡田代村(現羽後町)に生れ、昭和18年に矢島町に嫁いでこられました。裁縫が得意で、数年前までは雑巾を縫い、公共施設に寄付をしております。

現在も身の周りのことはほとんど自分でやり、時々自宅周辺の草取りや野菜づくりもしております。また、週2回のディサービスへの参加を楽しみにしているそうです。長生きの秘訣はというと「規則正しい生活を送り、くよくよせず、笑いながら暮らすことです。」と話しておりました。

まちの話題

秋田県社会福祉大会

四氏厚生労働大臣特別表彰

(9月3日)

県民会館を会場に開催された平成14年度秋田県社会福祉大会において、永年にわたり民生委員・児童委員として地域福祉向上のためご尽力されました功績に対し、次の方々が厚生労働大臣より表彰されました。

皆様の受賞をお喜び申し上げるとともに、今後の更なるご活躍をご期待申し上げます。

受賞者 土田 成二氏(豊町)(右中)
伊東 聖子氏(新丁)(左中)
三浦 マサヨ氏(川原)(左)
佐々木 幸氏(沢内)(右)



秋田県福祉大会で表彰された四氏

第9回由利郡女子ソフトボール大会

矢島チームが2連覇

(9月15日)

大内町を会場に行われたソフトボール大会で矢島町チームが優勝し2連覇を果たしました。このチームから19年国体に向け、選手、スタッフとしての参加と今後の活躍を期待します。

決勝 矢島町 2:0 由利町



2連覇を果たした矢島チーム



50万人目の入館者になった土田さん

寿康苑入館者50万人を突破

(9月14日)

これまで大勢の方々に利用いただきました寿康苑の入館者が、9月14日(土)午後4時20分に50万人を突破しました。50万人目の入館者になられたのは土田保雄さん(成沢)。

土田さんは「突然のことで驚いております。健康のためにと自宅の風呂には入らず、創業以来毎日寿康苑に来ております。おかげさまで健康に恵まれ新聞配達もしております。ありがとうございました。」と喜んで話してくれました。

8020いい歯のお年寄り表彰

80歳を過ぎても20本以上自分の歯のあるお年寄りを募集したところ、小番米三郎さん(矢島町)が、秋田県知事より「8020いい歯のお年寄り」に認定されました。

小番さんは、8020を保つために、日頃から歯磨きに留意しているとの事でした。

小番さんの受賞をお喜び申し上げます。



いい歯のお年寄りに認定された小番さん

まちの話題



19日65名の方が説明会に出席

好評 光サービス説明会

(9月19・21・24)

地域情報基盤整備モデル事業(加入者系光ファイバ網整備)の説明会を日新館で行ったところ、3日間で120名の町民の方々より参加していただき、関心の高さが伺われました。今後とも仮申込を行っておりますので希望される方は役場企画商工観光課TEL55-4952へご連絡ください。

昨年の雪辱を果たし矢島クラブ優勝

(9月14日)

第26回秋田県家庭婦人バレーボール大会が秋田市立体育館を主会場に行われ、矢島クラブが参加しました。

矢島クラブは順調に勝ちあがり決勝では昨年決勝戦で敗れているさくら(仙北町)との対戦になりました。両チームとも一歩も譲らず緊迫したゲームとなりましたが、矢島クラブが昨年の雪辱を果たし見事優勝しました。

今後更なるご活躍を期待いたします。



優勝を果たした矢島クラブのメンバー

竣工を祝う

川辺地区基盤整備

9月14日秋晴れのもと、川辺地区の基盤整備事業の竣工を記念して、式典が行われました。

川辺地区の基盤整備は、県営担い手育成基盤整備事業として平成10年度から5年を経て、1ha区画を中心とする42haが竣工し、ほ場整備のほか、川改修、鉄道踏切拡幅、小杉沢川堤防の築堤などが並行して行われ、近代農業にふさわしい基盤整備となりました。

田中踏切脇に建立された記念碑の除幕式では、受益農家多数が見守る中、揮ごうした佐藤清圓町長、事業主体の阿部仁由利総合農林事務所長らが除幕を行いました。

記念式典は、村岡兼造衆議院議員、佐藤健一郎県議会議員、近隣市町長のご臨席のもと日新館で行われ、主催者である矢島町土地改良区佐藤實理事長は「竣工を機に矢島町の農業が飛躍的に発展することを受益者一同邁進していきたい」と式辞を述べられました。

主要工事实績

施行年度	施行内容	事業費
H10年度	測量試験費等1式	4,500万円
H11年度	整地工 23.7ha 用水路工 2.1km 排水路工 2.5km 道路工 3.2km 付帯工1式	34,000万円
H12年度	整地工 17.8ha 用水路工 1.9km 排水路工 3.3km 道路工 3.8km 付帯工1式	29,000万円
H13年度	道路工 0.6km 付帯工1式	11,200万円
H14年度	付帯工1式	2,200万円
合計		80,900万円



建立された記念碑

引き続き行われた祝賀会では、受益者代表の佐々木常雄推進協議会長が、感無量の想いに声を詰まらせながら乾杯の音頭を行い関係者一同竣工を喜び合いました。

許しません

不法投棄!!

これが不法投棄の実態です



写真は先月、木在橋上流の右岸の原野に不法投棄されたと思われるゴミです。

土地の所有者の方も、自分の土地に、知らないうちに投げ捨てられたゴミを見て憤りを感じておられました。

今回投げ捨てられていたゴミは、キッチンと分別するとゴミステーションに出すことのできるゴミであり、ルールを守ることが面倒なため、安易に捨てられたと思われる。

今後、このような状況が続くようであれば、警察署とも相談をしながら厳しく対処して参りますので、心当たりのある方は、速やかに適正処理をしてください。

家庭・ゴミの野焼きも許しません

最近家庭から出るゴミ（紙くず・ビニール・プラスチック等）を焼却しているため、臭いや煙で迷惑しているとの苦情の音が寄せられております。そのような焼却処分は禁止されておりまして絶対に行わないようにしてください。

TEL 55・4959

稲わらの野焼きはできません

10月1日～11月10日

稲わらスモッグの発生を防止するため、秋田県公害防止条例の規定により10月1日から11月10日までの期間は稲わら等の野焼きは禁止されます。

稲わらスモッグは、大気汚染ばかりでなく、道路や沿道周辺が視界不良となつて、自動車運行上支障をきたすことがあります。

条例に違反しますと、文章による警告、氏名等の公表が行われます

TEL 55・4956

◎ 複十シール運動 募金額の報告

先日「世界の結核撲滅」を目的として皆様にご協力していただいた平成14年度の複十シール運動募金額がまとまりました。

今年度の目標額は12万1千7百21円を掲げて運動を展開した結果、募金額は17万5百3円と、目標を上回る額となりました。

益金の用途は、結核予防のさまざまな事業への募金として、13万6千8百63円、ハルセン病援護募金として1万3千6百40円、事務費として2万円に使わせていただきました。

皆様のご協力、大変ありがとうございました。

活躍の記録

秋田県空手道少年練成大会

9月15日(日) 秋田テルサ

小学生5・6年男子形の部

第三位 黒木 惇哉(豊町)

平成14年度都市中学校新人卓球大会兼第38回本間旗争奪戦

9月21・22日

男子団体準優勝(県大会出場)

男子個人

準優勝 小番 嘉文(新所)

第三位 三浦 公貴(新町)

” 佐々木博喜(九日町)

“こちら情報センター”

全国初の地域光ファイバ網整備により超高速インターネットが可能になります。

『YBネット』加入仮申込の受付開始!!

平成14年度に国の新規事業としてスタートした地域情報基盤整備モデル事業（加入者系光ファイバ網整備）事業の仮申込がいよいよ開始されました。



この事業は、通信事業者が超高速通信網を整備できない過疎地域においてモデル事業として光ファイバ網を整備する

もので矢島町が全国初のケースとしてスタートします。来年3月の事業開始にむけて加入希望者を募り、第1次の加入者を決定するため、加入説明会を9月19日から24日まで3日間にわたり、日新館を会場に行いました。初日となった19日には65名の町民の方々が参加しており、この事業への関心の高さが伺われました。説明会では、担当者から光サービスに至った経緯やこの事業に到達した理由、さらには今後のスケジュールとサービス内容等の説明が行われ、特に利用料金については、矢島独自の料金体系（Bフレッツ100Mタイプ）が創設さ

れ、一次募集者には特典によりNTTが行う通常のサービスの半額程度（加入者数増でもっと安価に）になる予定等も公表されました。

このYBネット加入の一次募集は先着288名で10月10日が期限となっており、定員になり次第、第1次の募集は締め切ります。

10月もこの事業やサービス内容を知っていただくため、2回の説明会を下記により開催いたします。現在インターネットをやっている方やこれから始めようと考えている方は、是非説明会にお越し下さるようお願いいたします。町民多数のご参加をお待ちしております。

光ファイバ事業説明会開催

期 日 平成14年10月5日（土）

10月8日（火）

（いずれかの日にお越し下さい）

場 所 矢島町日新館 研修室

時 間 午後7時00分～

対 象 矢島町に在住する方

問い合わせ 役場企画商工観光課

TEL 0184-55-4952

やまめ九月例会

作柄の見える賑わう秋祭

佐藤 勝男

秋祭一番狼煙あがりけり

佐藤木の実

雲の型いろいろありて秋の空

齋藤 瑞

杳き日の旅の記憶や秋の土手

金子 京子

日々進む夜長を感じ目覚めけり

鞍馬 賢治

第三二九回

矢島短歌会八月例会秀歌

選者 藤田嘉樹

戦争を知らぬ世代の幸いのいさ
さ疾しき葉月六日は

佐藤千賀子

夢持てぬ齢となりて思い出をお
さらいの如夫と語る夜

富田 かよ

「こんばんは」ユニホーム姿の
少年は声はつらつと掛け帰り行

佐藤 洋子

亡き吾子が未来夢見しアルバイ
トの牛乳配りの朝の偲ぼる

佐藤 トキ

百歳になりてもお金欲ししとう
老の願いの短冊ゆるる（七夕）

伊東 房代

事故死せる母を求めて生後三日
の仔犬啼きつつ寝入らんとする

佐藤 ヤス

子燕の帰らざりけり軒さみし

正木 禮子

秋涼し駅のオルガン弾く子かな

佐藤真都子

磨崖佛霧の中なる湖蒼し

佐藤柳四郎

刈りあげし畔にたおさる案山子
かな

佐藤トキ女

山峡を埋めて静かやそばの花

佐藤アヤ子

鳥群るる秋の夕焼子等の背に

齋藤 茂

地を蹴つて跳ねて若衆秋祭

北島やす雄

一年生「ハナ・ハト・マメと朝
読みの彼の日惚る懐しき夜や

土田 マサ

早朝に雨に濡れつつ紫蘇を売る
女士用の丑日の日を云う

佐藤アヤ子

ひと言も苦しと云わず働きし母
を思えり墓洗いつつ

金子 京子

好みたる鼻緒挿げ替え亡き母の
草履に沸きしあらたなおもい

佐藤真都子

明け切らぬ狭庭の今朝は露なが
ら日々草の紅著るく見ゆ

金子 四郎

唯一人若者気付きスタートの
リースクインに雨傘伸べぬ

茂木 富子

講師詠
陽に灼かれ大泉寺山に松根を堀
し彼の日よ勝を信じて

藤田 嘉樹

ほけんだより

《相談・健診》

◎なんでも健康相談

日時 10月25日(金)
午前9時30分～11時30分

場所 保健センター

※健康に関する相談、体脂肪率や血圧測定、赤ちゃんの計測など実施しています。お気軽にいらして下さい。

◎乳児健診

日時 10月25日(金) 午後1時

場所 保健センター

対象 平成13年10・12月生
平成14年3・6月生

(持参するもの)

母子手帳、記入したアンケート用紙、
バスタオル

※6月生の方は「母子健康相談票」を持ってきて下さい。

◎1歳6ヶ月児健診

日時 10月29日(火) 午後1時

場所 保健センター

対象 平成13年1・2・3・4月生
(持参するもの)

母子手帳、記入したアンケート用紙

《予防接種》

◎ツベルクリン反応検査・BCG

①ツベルクリン反応検査

日時：10月28日(月)午後1時

場所：保健センター

対象：平成14年6月生まれまでの
未接種者

※母子手帳を持参して下さい。ツベルクリン反応検査の予診票はありません。

②判定・BCG接種

日時：10月30日(水)午後1時

場所：保健センター

対象：①のツベルクリン反応検査を
受けた方

※母子手帳と記入した予診票を持参して
下さい。

◎健診・予防接種の日程は矢島町のホームページ・iモードでも御覧いただけます。

《ホームページアドレス》

<http://www.town.yashima.akita.jp/>

《iモードアドレス》

<http://www.town.yashima.akita.jp/fukusi/fukusi/imodo.html>

◆◆◆ 婦人科検診（乳がん・子宮がん）が始まります ◆◆◆

◎乳がん検診

乳がんの患者数は年々増えており、全国で年間約2万人が罹患しています。

原因には遺伝、動物性脂肪摂取の増加、肥満、女性ホルモンの過剰刺激などが挙げられています。また、乳がんと深い関係にあるのが女性ホルモンの分泌です。

初潮が10歳以下だった人、妊娠・出産の経験がない人、授乳経験のない人、初産が高齢だった人などは、乳がんになりやすいといわれています。

罹患者の平均年齢は40歳代後半で、35歳を過ぎたあたりから急増します。

日頃の自己検診と年1回の検診をお勧めします。

◎子宮がん検診

子宮がんには、子宮頸がんと子宮体がんがありますが、日本人の子宮がんのうち、80～90%が子宮頸がんです。

好発年齢は40歳代ですが、最近では30歳の若い年代の増加が目立っています。年1回は検診を受けましょう。

※なお、4月に申込みをしていた方には、すでに通知書を配布しておりますが、申込みし忘れた方や変更のある方は福祉保健課まで連絡して下さい。

なお、自己負担金は70歳以上の方、非課税世帯の方、老人医療受給者証をお持ちの方、を除いて乳がん検診は五百円、子宮がん検診は千円となります。

平成14年度 婦人科検診日程表

会場 保健センター

受付時間 午後1時30分～2時

実施月日	対象地区
10月 2日(水)	川原小坂・田中・砂子沢・杉沢・沢内・小坂戸・木在・荒沢
10月 4日(金)	中屋敷・上新荘・坂之下郷内・坂之下・大川原・御嶽
10月 7日(月)	矢島町・家中新地・丸森・田中町・新丁・館町・七日町
10月 9日(水)	事業所
10月11日(金)	新道・羽坂・豊町・栄町・栄町住宅・城新
10月16日(水)	小田・沖小田・小田住宅・築館・水上・上の山小杉沢・持子・八ツ杉・中山・上野平・上野・長泥・十二ヶ沢・軽井沢・新町
10月18日(金)	山寺・下山寺・新所・元町郷内
10月21日(月)	谷地沢・桃野・九日町・須郷田・成沢・田沢・金ヶ沢・上原・矢越・針ヶ岡・熊之子沢・大谷地・濁川

※割り当て日以外でも、都合の良い日に受診して下さい。

年金コーナー

国民年金基金

国民年金基金とは・・・

自営業などの方々がゆとりある老後を送ることをめ
老齢基礎年金に、上積みの年金を支給するものです。

加入できる人は・・・

国民年金（1号）被保険者が加入できます。但し、保険料を免除されている方や
任意加入者、農業者年金の被保険者は加入できません。

掛け金と支給される年金は・・・

基金の掛け金は、加入員が選択した将来の年金給付年金額や口数、年齢に応じて
決まります。詳細については住民係窓口パンフレットがございます。

保険料の免除制度

失業等保険料の納付が困難なときは「免除制度」があります。該当すると思われ
る方は早めに届出願います。納付が困難にもかかわらず「免除制度」の手続きをせ
ずに未納となった場合、将来年金を受給することができなくなる場合もあります。

お問い合わせ先 生活・環境課 TEL 55 - 4959



金婚祝賀会の開催について

平成14年度年金の金婚祝賀会を
日新館において開催致します。

▼日時 10月23日（水）

午後2時より

今年度の対象者は昭和28年
中に婚姻届出された方です。
こちらで把握している方々は
御案内しておりますが、該
当すると思われる方でもまだ通
知の届いていない御夫婦がお
られましたら、役場福祉保健
課福祉係（TEL 55 - 4960）ま
でお問い合わせ下さい。

児童手当10月期分の

振込について

今月は、児童手当10月期分
の振込月です。児童手当は6
月と10月、それに2月の3回、
支払月の前月までの4ヶ月分
を受給者指定の口座に振り込
みます。

支給対象者

6歳到達後最初の3月31日
までの間にある児童（義務
教育就学前の児童）を養育
している方

支給額（月額）

第1子 五、〇〇〇円
第2子 五、〇〇〇円
第3子 一、〇〇〇円

問い合わせ先

生活・環境課住民係
TEL 55 - 4959

国保の皆様を対象とした

人間ドックのお知らせ

ドックを利用して健康チェックしてみませんか！
受診を希望する方は福祉保健課・保健係に電話で申し
込んでください。（TEL 55 - 4960）

医療機関名	人間ドック	脳ドック
由利組合総合病院 人間ドック費用 男性 21,997 女性 26,147 脳ドック費用 ※50,000	10/23(水)	10/23(水)
本荘第一病院 人間ドック費用 男性 23,100 女性 26,250 脳ドック費用 ※15,225	11/18(月)	11/18(月)
	12/2(月)	12/2(月)

※矢島町国保加入者で、20歳以上の方であれば受けられます。
脳ドックは70歳未満の方が対象となります。
※本荘第一病院の脳ドックは単独では受けられません。
人間ドック受診が必須となります。
※人間ドック及び脳ドックともに1万円の助成となります。

「介護支援資金」

借入希望者相談会

介護サービス利用料の支払
いが困難な方へ、介護に関わ
る経費を貸し付ける資金です。
介護保険サービス利用者
に対する利用料、保険料等の貸
付の相談に応じます。

▼日時 10月8日（火）

午後1時～4時

▼場所

本荘市 鶴舞会館

みんなの善意

◎社会福祉法人矢島町社会福
祉協議会

次の皆様から社会福祉事業
のため役立てて下さいとして
寄付金を寄託されました。
厚くお礼申し上げます。

- 砂子沢、三浦政夫様（御尊
父誠一氏香典返し）
- 杉沢、佐々木芳勝様（御
母堂カツ氏香典返し）
- 坂之下、小沼文夫様（御母
堂夕力氏香典返し）



募 集

町営住宅入居者募集

下山寺住宅 一戸
榎木田住宅 一戸

▼敷 金 家賃の3カ月分
▼入居資格

ア、同居親族がいること
(高齢者や身体障害者の方は特例事項があります。単身者でも特例により入居可能です。)

イ、住居に困っていることが明らかであること

ウ、公営住宅法で定められている収入基準内であること

エ、町税等に滞納がないこと

オ、入居時点で矢島町に住民登録ができること。

▼募集締切 10月10日(木)

▼問い合わせ先

矢島町役場建設課
TEL 55・4955

第10回町長杯一般男女バレーボール大会参加募集

▼期 日
10月14日(体育の日)
午前9時～

▼会 場
矢島勤労者体育センター

▼種 目
男子6人制・女子9人制

▼参加費
1チーム 三、〇〇〇円

▼申込・問い合わせ先
矢島町バレーボール協会
事務局 TEL 55・4951

役場庁舎ポイラー士募集

▼勤務内容
庁舎ポイラーの操作と庁舎除雪等

▼募集人員 1名

▼雇用期間 平成14年11月10日～平成15年3月31日
(土日祝祭日・年末年始除く)

▼勤務時間

午前7時30分～午後5時
賃金日額 7,700円

▼加入保険
社会保険・雇用保険

▼応募資格

2級ボイラー技士取得者で概ね60歳までの者
申し込み受付

市販の履歴書に記入の上10月15日(火)まで役場総務課に提出してください。

▼採用方法
書類審査選考により決定します。

※その他詳細は役場総務課まで
TEL 55・4951

お知らせ

▼くらしに役立つ 行政相談

日頃、困っていること、知りたいことを相談してみませんか！

私たちのくらしは、行政と深くかかわっております。役所の仕事について、“説明に納得がいかない”“処理がおかしい”“どうしたらよいかわからない”といった苦情や要望を行政相談委員がお聞きします。

▼矢島町担当
行政相談委員 佐藤重夫氏

▼郷 内 TEL 55・3391

▼相談日 10月15日、28日
時 間
午前9時～午後3時

▼場 所 矢島町福祉会館
※相談は無料で、秘密は守られますのでご安心下さい。

第4回リバーサイドウォークラリー開催

皆さん一緒に子吉川のほとりを歩いてみませんか。歩く前後には健康チェックも行います。

▼日 時 10月20日(日)
午前10時～

▼場 所
子吉川せせらぎパーク

▼申込み 10月12日(土)
▼問い合わせ先
本荘第一病院保健センター
TEL 27・1117

秋田県立大学本荘キャンパス大学祭「潮風祭」

▼日 時 11月2日・3日
午前10時～午後5時

▼場 所
県立大学本荘キャンパス

▼催 し
フリーマーケット・スタン

プラリー・利きカップめん

11月3日はアンバランスお笑いライブが午後3時より行われます。

▼問い合わせ先
潮風祭実行委員会
TEL 25・8311

建築基準法違反防止週間

10月11日(金)から10月17日(木)までは違反建築防止週間です。この週間は、住民の皆様が建築基準法の目的や内容についてもっと知っていただき、違反建築の防止を図るとともに、建築に関する様々な取り組みを行い、建築物の安全性の確保と良好な住環境をつくることを目的として全国的に行うものです。

10月16日には、県内各地で一斉公開建築パトロールを実施します。皆様も、住宅の安全性などについて、チェックしてみたいかがですか。

森林づくりを支える交付金「森林整備地域活動支援交付金制度」説明会開催

林業を取り巻く状況は依然と厳しい現状の中、手入れをせず山を放っておけば、山の価値が下がるだけでなく森林のもつ大切な働きも十分に発揮できなくなります。そこで、国・県・市町村では森林の現況調査など森林所有者の皆さんが山の手入れを進めるために欠かせない活動を交付金によって支援いたします。

ポイント（積算基礎森林）

一ヘクタール一百万円の支援！

交付金を受ける手続き等について左記の日時より説明会を開催致します。

日時

10月2日（水）・3日（木）
午後6時30分から

【いずれかの都合の良い日
において下さい。】

場所 矢島町日新館 研修室

問い合わせ先

矢島町役場農林課林業係

TEL 55-4956

第7回 花立秋まつり

日時 10月6日（日）

午前9時30分～午後2時

場所

花立クリーンハイツ

駐車場（受付）

▼イベントは、ウォークラリー、パークゴルフ大会、釣り大会です。ご家族皆さんが楽しめる内容となっておりますのでぜひお出かけ下さい。なお、正午からは豚汁の無料サービスもあります。

▼問い合わせ先

矢島町観光協会

TEL 55-4953

講習会等

危険物取扱者試験準備講習会及び試験願書の受付

平成14年度乙種第4類及び丙種危険物取扱者試験準備講習会が左記のとおり実施されます。

▼実施講習会の期日
乙種危険物取扱者準備講習会
平日コース
10月24日・25日
場所 秋田市文化会館

▼準備講習会受講料
乙種 一万四千元
丙種 九千元
申込及び問い合わせ先
矢島地区消防組合消防署
TEL 55-2111

土日コース

11月2・3日

場所 秋田テルサ

丙種危険物取扱者準備講習会

10月27日（日）

場所 秋田市文化会館

▼準備講習会受付期間
9月26日～10月7日

▼準備講習会受講料
乙種 一万四千元
丙種 九千元

▼申込及び問い合わせ先
矢島地区消防組合消防署
TEL 55-2111

『あなたのまちの幸せのために』

～全国一斉に共同募金始まる～

本年も10月1日から赤い羽根共同募金運動がスタートしました。たすけあいの心の醸成を図るため、県民ひとりひとりの理解と参加を得て募金目標の達成に向けて努力を要することです。

共同募金は地域福祉活動推進への一層の寄与が明確化され、地域住民や社会福祉協議会・ボランティア等を中心に地域密着型、住民参加型の民間社会福祉事業及び地域福祉活動を積極的に支援していきます。何卒、本主旨をご認識下さいまして、特段の参加と協力をお願いします。本町共同募金会も矢島町婦人会による街頭募金を始め、部落奉仕員による毎戸募金、各法人、事業所及び小中高等学校の参加を得て展開してまいりますのでよろしくご協力お願い申し上げます。

矢島町募金会目標額 金1,300,000円

子供館よりお知らせ

今月のお楽しみ会は★10月26日（土）“食欲の秋”焼き芋をしたり、落ち葉焼きをして楽しみましょう。

交通事故の発生状況

（平成14年9月25日現在）

人身交通事故 0件

（平成14年8月）

交通死亡事故ゼロ日数

880日

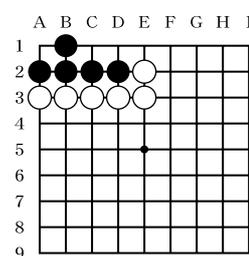
8月救急月報（矢島地区消防組合）

	出動件数	搬送人員
交通事故	1 件	0 人
一般負傷	5 件	5 人
急 病	12 件	12 人
その他	3 件	2 人

ちよつとひと息…

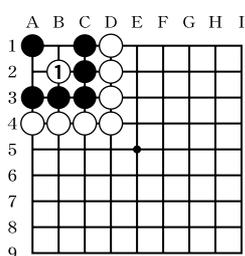
囲碁講座

黒番で生きてください。



（9月号解答）

白1で黒は1コより目ができない（死）



※正解者1名に粗品を進呈いたします。

1）（解答例） C-3・F-1

（応募多数の場合は抽選）

●応募先

矢島町七日町字上山寺29

廣祐寺内

やしま囲碁同好会